

2004年度 学術交流支援資金 電子教材作成支援
「文化・社会のガバナンス研究Ⅲc（南北統一・融合のシナリオ）」報告書

総合政策学部教授 兼 政策・メディア研究科委員

研究代表者氏名 渡辺吉鎔



本研究は政治、経済、文化など多岐に渡って進められている「南北統一政策」に関するデータベースを構築し、国内外の幅広い研究者に対する研究の活性化と研究活動を支援することを主な課題としている。

南北統一研究は朝鮮半島を取り巻く国際情勢の変化に伴って、幅広い分野へと議論が進展し、膨大な量の資料・情報が蓄積されている現状から本研究は複数年にかけて行うことを予定している。本年度はその第一段階として、(1)文化・社会のガバナンス研究Ⅲc(南北統一・融合のシナリオ)の補助教材、(2)国内の若手研究者に対する研究活動支援、という観点から次の二点を中心としたデータベース構築を行った。一つ目は「韓国の政府機関・研究所・メディア(新聞社および放送局)のウェブサイトへのリンク集」である。これは南北統一政策研究を行う際に必要となる資料・情報収集の一助をなすものである。今回作成したリンク集は従来のデータベース・リンク集とは異なり、南北統一政策に関連しうるウェブサイトを可能な限り網羅したところに特徴がある。これによって文化・社会のガバナンス研究Ⅲc(南北統一・融合のシナリオ)にて本格的な研究活動を行おうとする若手研究者の研究内容がより一層充実することが期待される。二つ目は「韓国および北朝鮮の国内動向を中心とした年表」である。当初は政治、経済、文化など分野別にデータを整理し、作成することを考えたが、あえて韓国と北朝鮮という大きな枠組みにすることで各分野が有機的な連続性を持ちうることを若手研究者に認識してもらうところに我々の狙いがある。

研究計画の段階では、完成したデータベースを公開用に作成したURLにて随時更新することを予定していたが、サーバー管理(管理者および維持費用)の面で問題が生じたため、最終的にはCD-ROM化することにした。現在「リンク集」と「年表」に関する資料・情報の収集、蓄積および整理作業は終了し、外部依頼にてCD-ROMを作成しているところである。研究計画が多少修正されたことに加えて、CD-ROM作成作業に予想以上の時間がかかることから現時点では原資料(Word、Excel形式)を提出するが、CD-ROMが完成次第、追って提出する。

今回作成したデータベースが若手研究者にとって本格的に始まったばかりである南北統一政策研究を行う際の重要な指標になりうると期待している。収集したデータはいずれも研究活動の基礎部分をなすものであるが、授業の補助教材として若手研究者の研究を活性化させるという本年度の目的は十分に達成されると考えている。しかし一方で国内外の幅広い研究者に活用されるデータベースを作成するという本研究の最終的な目標に向けて、各種資料・情報の収集および蓄積作業は次年度以降も継続して行っていく予定である。

以上